

特集

一人一人ができる 環境に優しい暮らし方



わたしたちが築いてきた豊かで便利な社会は、その代償として地球温暖化などの問題を起こしました。

この問題は、今すぐにでも解決しなければならない深刻な状況となっています。7月に開催される『北海道洞爺湖サミット』では、主要テーマの一つに環境問題が挙げられています。また、『環境に優しいサミット』と位置付け、徹底して環境に配慮した運営が進められています。

今月号では、環境に優しい暮らし方のヒントとして『グリーン購入』や『家電・パソコンリサイクル』、環境などをテーマにした『サミットに関連した取り組み』についてご紹介します。

環境問題について 考えよう



これまで、わたしたちは豊かさや
便利さを求めてたくさんの資源やエ
ネルギーを使い、たくさんの物を作
り、たくさんのお金を捨てるという
『大量生産・大量消費・大量廃棄型』
の生活様式で暮らしてきました。

しかしその代償として、地球温暖
化が進み、今すぐ解決しなければ
ならない状況となっています。

環境問題は、影響が一国内にとど
まらず、国や地域単位での解決は困
難なため、国際的に連携した取り組
みが必要です。これまでも環境につ
いての国際会議が開催され、世界全
体で取り組むべきこと、各国がそれ
ぞれに実行すべきことなどが協議さ
れてきました。

北海道洞爺湖サミットの 役割



7月7日～9日に開催される『北
海道洞爺湖サミット』では、環境・
気候変動問題がテーマの一つとして
挙げられています。

運営に関しても『環境に優しいサ
ミット』と位置付け、環境に配慮し
た取り組みが進められています。

この機会に生活様式や行動を見直
し、一人一人が環境に優しい暮らし

方について取り組んでみませんか。

環境に優しい暮らし方 ってなんだろう



環境問題の解決には、わたしたち
一人一人が環境を守る意識を持つこ
とが大切です。

一人一人ができるだけ不要な物を
買わず、大切に物を使い、再利用や
リサイクルを心掛けたり、節電をし
たり、外出時の車利用を自転車や公
共交通機関に切り替えたりする努力
は大変重要なことです。

生活の中でできるかぎり資源やエ
ネルギーの無駄遣いをやめ、再利用
やリサイクルを推進する循環型社会
を構築することが、環境を守ること
になります。

皆さんの積極的な取り組みをお願
いします。

循環型社会のための3R

- 発生抑制（リデュース）
極力ごみを出さない
- 再使用（リユース）
どうしても出るごみは、中古品
や部品としてできるだけ再使用
- 再生利用（リサイクル）
再利用できないごみは、原材料
などとして再生利用